



# 青森県内の複数企業の連携で県産品を 中東への輸出の可能性を探る

県産品輸出ベンチャー企業設立準備会【幹事企業：<sup>だけ</sup>嶽開発株式会社】（青森県弘前市）



農業などの新分野に進出するも、国内市場で販路確保に悩んでいた嶽開発(株)をはじめとする建設企業 5 社は「県産品輸出ベンチャー企業設立準備会」を設立。海外市場へ目を向け、ドバイ首長国を中心に中東地域への県産品輸出を焦点として事業に着手した。当モデル事業は県の産業を活性化させることもねらいである。



## 1. 事業の背景と動機

### 海外に市場を求めて

嶽開発(株)を代表とする「県産品輸出ベンチャー企業設立準備会」は、農業など新分野に参入しながらも販路確保の壁に直面したメンバーが、販路開拓を求めて結成した協同体である。同グループは海外輸出を検討する中でオイル景気に湧くドバイ首長国(以下ドバイ)に注目、県産品輸出事業化の調査を開始した。



輸出向けの県産品(一部)。輸出に関しては大手商社からもアドバイスを受けている

## 2. 進出時の苦労やその対応

### 複数企業の連携グループという強み

国内での販売実績があるとはいえ、輸出業に関するノウハウを持たない点に苦心したが、グループ内で様々な意見交換と大手商社や青森県の支援により順調に事業をはじめることができた。

## 3. 新事業の概要

### 好景気に沸くドバイは理想の輸出国

輸出先としてドバイを想定したのは、毎年大きな国際見本市「<sup>ガルフフード</sup>GULFOOD」が開催されること、日本からの輸出食品が少ないなど好条件がそろっているため。将来的にはドバイを含む中東諸国関連企業を顧客に、需要の高い県産食品やメンバー企業の商品などの輸出事業を行う計画である。そのため同準備会ではまず県産品の輸出事業実施前に必要な諸手続きの調査や事業化可能性調査を行っていく予定である。



輸出事業に対する意気込みを語る三上氏(右から3番目)と主要メンバーの皆さん

4. 事業の推進体制

事業協同組合を設立

青森県では県をあげて県産品の輸出を応援しており、事業化可能性調査など県庁の担当者も交えて事業を進めている。メンバー企業5社がそれぞれの社内で体制をつくっているが、輸出事業ノウハウについては青森県庁と大手商社の協力を得ている。また、平成 19 年 1 月に事業協同組合を設立し、新たな体制で事業を展開している。



GULFOOD2007 へ出展する県産品を選考するメンバー

5. 差別化戦略・競争戦略

現状では競合相手は少ない

専門機関よりドバイへの日本からの食品輸出は少ないという情報を得ており、競合相手は少ないと予想される。活況なオイル市場を背景に高級ホテルなどの建設ラッシュがづく同国への輸出事業は、他社と一線を画す取り組みである。



昨年ドバイで開催された国際見本市 GULFOOD2006 の会場風景  
(出所) GULFOOD2007 ドバイ出展の手引き

6. 成果と今後の課題

地域特産品の販路拡大による地域産業活性化

平成 19 年2月、同事業の目標であった「GULFOOD2007」(開催地:ドバイ)に県産品を出品。現在は見本市での状況を踏まえ、新体制の下で今後の戦略を検討・展開している。輸出事業開始後は輸出対象品の安定供給確保が課題となるだろう。本事業がさきがけになり、地域産業の活性化にもつなげていきたい。

【GULFOOD】

1987 年にスタートしたアラブ首長国連邦ドバイで毎年開催されている国際食品見本市。中東地域最大のイベントとして定着している。

● 事業者 PROFILE



嶽開発株式会社

代表者: 三上 千春 (代表取締役社長)  
所在地: 青森県弘前市  
資本金: 4,000 万円  
従業員数: 38 名  
事業内容: 土木・舗装・建築工事や産業廃

棄物中間処理業などを行う。ISO9001を取得している。  
URL <http://www.ac-netor.jp/>